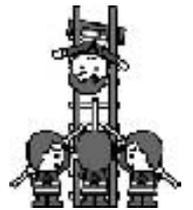


御代田 消防署がみなさんへ



1月11日は御代田町消防出初式

消防出初式の起源

今日、新春行事の一つになっている消防出初式の起源は、遠く万治2年(1659年)にさかのぼります。明暦3年(1657年)の大火を契機として、万治2年1月4日、時の老中稲葉伊予守正則が、定火消総勢4隊を率いて、上野東照宮前で出初を行って氣勢をあげたことが、当時焦土の中にあつて苦しい復興作業に絶望的な状態にあつた江戸市民に、大きな希望と信頼を与えました。このことが契機となつて定火消の「出初」は、毎年1月4日上野東照宮で行われることとなり、次第に儀式化され、恒例行事となつて今日の出初に受け継がれています。

木遣(きやり)とはしご乗り

近代消防機械のパレードや精鋭部隊が披露する消防演習の中にあつて、粋な半纏姿(はんてん)がくりひろげる木遣歌(きやりうた)やはしご乗りは、町火消の心意気を今に伝えています。

木遣歌は、江戸の中期ごろには鳶職の間で盛んに歌われていました。大阪築城(1583年)のとき、大木などを運び出す掛け声や音頭通りの歌が自然に起こり、このときの歌が木遣歌の起源となつたともいわれています。また、入宋して禅法をおさめた宋西禅師が、建仁2年(1202年)に建仁寺を創建したとき、仕事をスムーズに進めるため工事人夫に歌わせたとの起源だとする説もあります。(近代世事談) はしご乗りの起源は定かではありませんが、延宝年間(1673～1681年)ころの見世物の一つに、はしごさしという言葉がみえていますので、このころから行われるようになったのかもかもしれません。消防出初式の発端となつた万治2年の上野東照宮前出初では、すでに神前ではしご乗りを披露していますので、消防のはしご乗りの歴史は古く、長い伝統があるということになります。(新消防雑学辞典より 抜粋)

問い合わせ先

御代田消防署 (32) 0119

いきがい学級・いきいき女性学級合同講演会

食を考える!

～あなたは子や孫の未来を損なっていないか?～



公民館のいきがい学級・いきいき女性学級合同講演会では前上田市教育委員長の 大塚 貢氏をお招きし「食を考える!」と題した講演会を開催します。

大塚先生は「非行やいじめがなぜおきるか」「自分を抑制できず非行に走ったり、キレたりするのはなぜか」を問い続けています。

調査の結果、これらの問題は「食事」に大きな原因があり、朝食を摂らない子どもが30%を超え、食べて来てもパン・ハム、ウィンナーなどで夕食はカレー、ハンバーグや焼肉などの肉類に偏っていることが分かってきました。

「バランスのとれた食を通じて明るい希望のもてる子育て」の一助になればとの想いでお話しいただきます。ご近所、お友達をお誘いのうえご参加ください。

【日時】 2月1日(日)午後1時30分～3時
【会場】 エコールみよた あつもりホール
【講師】 大塚 貢先生(前上田市教育委員長)
【入場料】 無 料

【申込方法】 1月24日(土)より午前9時～午後5時の間受け付けます。団体は参加人数を、個人の場合はお名前、住所、電話番号をお知らせください。
【問い合わせ先】 町公民館 32-2770